



「声」の欄・投稿規定

- ★「声」の欄は読者の皆さんのお考えを、直接誌面に反映させるためのページです。皮膚病の診療に関する日ごろのご意見、新しいアイデア、ご提言などをお気軽にお寄せください。とくに日夜第一線で診療に活躍しておられる先生方からのご投稿を切望します。
- ★「声」の欄には、また皮膚病に関する“質疑応答”を取り上げます。お寄せいただいたご質問は、その方面の権威に依頼して適切な回答を用意し、誌上で発表いたします。とくに回答者を指名されても結構です。
- ★字数は一般のご投稿は1,200字以内、質問は600字以内を原則とします。
- ★ご投稿は郵送のほか、FAX（番号：03-3984-1003）とE-mail（アドレス：hs1979@intage.com）にても受け付けております。
- ★原稿には住所・氏名を明記していただきます。

新型コロナワクチン接種の可否

新型コロナワクチン接種の準備が進むのに連れ（2021年2月現在）、蕁麻疹の患者さんからの問い合わせが増えてきました。m-RNAワクチンなのでいままでとは勝手が違い、いろんな意味で回答に困っています。アナフィラキシー歴のある方は適応外とのことなので、通常の寒冷や温熱、機械性の蕁麻疹などはおおむね問題ないのかなと思うのですが、食事性アレルギーでアナフィラキシーまではいかなくても全身に蕁麻疹が出たような中等症以下のケースはどうなるのでしょうか？ また、蜂やマムシなどで毒素成分によるアナフィラキシー歴がある場合は、仮にアレルギー性でないとしてもやはり避けるべきなのでしょうか？

どなたかアレルギーに詳しい先生のご指導をいただければ幸いです。

石川 博康
(八戸市・湊高台皮膚科)

【コメント】

過去に予防接種を受けて、2日以内にアレルギーが疑われる症状が出た方や、ワクチンの成分に対してアレルギーがおこる恐れがある方の接種は注意が必要とされていますが、食物アレルギーや蕁麻疹の既往があるだけで接種を受けられないわけではありません。ま

た、接種するワクチンの成分に関係のないものに対するアレルギーをもつ方も基本的には接種は可能です。ただし、これまでに薬や食品などなんらかの物質で、アナフィラキシーなどを含む重いアレルギー反応をおこしたことがある方は、接種直後に調子が悪くなったときに速やかに対応ができるよう、接種後少なくとも30分間は接種会場で待機して、副反応が出ないかどうかをしっかりと確認する必要があります。

米国の疾病予防管理センターは、ほかのワクチンや食物に対して重いアレルギーの既往のある方も、新型コロナワクチンの接種が可能としています。一方、過去に新型コロナワクチン（mRNA ワクチン）に対してアナフィラキシーなど重いアレルギー反応をおこした方や、同ワクチンに含まれるポリエチレングリコール（PEG）に対して重いアレルギー反応をおこしたことがある方への接種は推奨していません。PEGに似た構造をもつポリソルベートに対して重いアレルギー反応をおこしたことがある方への接種は、以前は禁忌とされていましたが、現在は専門医による適切な評価と重度の過敏症発症時の十分な対応ができる体制のもとにかぎり考慮できるとされています。蜂によるアナフィラキシー歴がある方でも、基本的にはワクチンを接種することができます。

なお、米国において、ファイザー社のワクチン接種後に報告されたアナフィラキシーは、2021年1月時点で100万回あたり5例となっており、74%が接種後15分以内、90%が接種後30分以内に発症しています。また、80%にアレルギーの既往があり、24%にはアナフィラキシーの既往があったと報告されています。

武田／モデルナ社のワクチン接種後に報告された

アナフィラキシーは、2021年1月時点で100万回あたり2.8例となっており、86%が接種後15分以内、90%が接種後30分以内に発症しています。86%にアレルギーの既往があり、24%にはアナフィラキシーの既往があったと報告されていますので、やはりアナフィラキシーの既往がある方は注意が必要ということ

にはなりますが、接種するワクチンの成分に関係のないものに対するアレルギー歴をもつ方の接種は基本的には可能と考えられます。

千貫 祐子

(島根大学医学部皮膚科准教授)